

基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生物工学分科会の設置について

分科会等名：基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生物工学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎生物学委員会 ○応用生物学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	生物科学の基礎知見・技術を発展させるとともに、その産業化を通して社会に貢献するための学術基盤を作成することが目的である。本分野では微生物、植物、動物など幅広い生物種が対象となり、専門分野(下記参照)も多岐にわたるため、多様な学会(生物関連学会、生物化学関連学会、工学関連学会、環境関連学会など)および産業界の協力が不可欠である。その上で、必要な緊急課題について提言したい。 専門分野例：分類学、遺伝学、分子生物学、微生物育種、植物細胞工学、動物細胞工学、代謝制御、細胞生理学、特殊環境微生物学、酵素工学、たんぱく質工学、免疫工学、糖鎖工学、生理活性物質、生体関連化学、醸造、食品工学、発酵生産、生物化学工学、分離工学、細胞培養工学、生物プロセス工学、計測工学、資源・エネルギー工学、廃水処理工学、生態・環境工学、医用工学など
4	審議事項	生物工学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること
5	設置期間	年 月 日～ 年 月 日／ 常設
6	備考	